

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称

アリル=テトライソプロピルホスホロジアミダイト

製品安全データシートの供給者情報

Entegris, Inc.

129 Concord Road
Building 2
Billerica, MA 01821
USA

Telephone Number: +1-952-556-4181

Telephone Number: +1-800-394-4083 (toll free within North America)

日本インテグリス合同会社

〒108-0073 東京都港区三田1-4-28 三田国際ビルディング

電話番号: 03-5442-9718

緊急連絡先: 03-4520-9637 (CHEMTREC)

電子メール: Product.stewardship@entegris.com

推奨用途

医薬品-バイオ医薬品

使用上の制限

研究開発での使用のみ。

2. 危険有害性の要約

GHS分類

引火性液体 - 区分4

皮膚腐食性及び皮膚刺激性 - 区分2

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 - 区分2A

特定標的臓器毒性 (単回ばく露) - 区分3 (呼吸器系)

GHS ラベル要素

絵表示



注意喚起語

警告

危険有害性情報

H227 可燃性液体。

H315 皮膚刺激。

H319 強い眼刺激。

H335 呼吸器への刺激のおそれ。

注意書き

安全データシート

化学品の名称: アリル=テトライソプロピルホスホロジアミダイト

SDS ID: 1328 (JAPAN)

安全対策

- P210 熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。—禁煙。
- P261 蒸気とミストの吸入を避けること。
- P264 取扱い後は手をよく洗うこと。
- P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
- P271 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。

応急措置

- P370+P378 火災の場合: 消火するために適切な消火剤を使用すること。
- P304+P340 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- P312 気分が悪いときは医師に連絡すること。
- P302+P352 皮膚に付着した場合: 多量の水と石けん(鹼)で洗うこと。
- P332+P313 皮膚刺激が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けること。
- P362+P364 汚染された衣服を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
- P305+P351+P338 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- P337+P313 眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当てを受けること。

保管

- P403+P233 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
- P405 施錠して保管すること。

廃棄

- P501 内容物、容器を国際、国、都道府県、又は市町村の規則に従って廃棄すること。

分類区分に該当しない他の危険有害性

知られていない。

3. 組成及び成分情報

CAS	化学名	濃度 (%)	化審法 官報公示整理番号	安衛法 官報公示整理番号
108554-72-9	アリル=テトライソプロピルホスホロジアミダイト	<100	--	--

4. 応急措置

吸入した場合

有害作用が起きた場合は、汚染されていない場所へ移動すること。息をしていない場合は人工呼吸を行うこと。直ちに医師の手当てを受けること。

皮膚に付着した場合

汚染した衣服や靴を脱ぎながら、皮膚を石けんと水で15分以上洗い流すこと。必要な場合は、医師の手当てを受けること。汚染した衣服は完全に洗浄し乾燥させてから再使用すること。

眼に入った場合

大量の水で15分以上優しく洗い流す。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。次いで医師の手当てを受けること。

飲み込んだ場合

飲み込んだ場合は、医師の手当てを受けること。

症状: 急性

呼吸器系の刺激, 皮膚刺激, 眼刺激

症状: 遅発性

著しい悪影響に関する情報はない。

医師に対する特別な注意事項

症状に応じた治療や補足治療を行うこと。

5. 火災時の措置**適切な消火剤**

一般粉末消火剤, 二酸化炭素, 水噴霧, 一般泡消火剤

使ってはならない消火剤

高圧水流

特有の危険有害性

可燃性液体

消火方法

危険のない限り、容器を出火域から移動すること。こぼれた物質を高圧水流で散乱させない。最大距離から消火にあたるか、無人ホースホルダーまたはモニターノズルを使用する。消火後もしばらくは、容器を散水で冷却すること。火災によって排気安全装置の音が高くなってきた場合、またはタンクが変色した場合、直ちに撤退すること。火災に巻き込まれたタンクからは常に離れる。大規模な火災の場合、無人ホースホルダーまたはモニターノズルを使用する。これが不可能な場合はその場から撤退し、火災を燃え尽きさせる。物質または燃焼副産物の吸入を避ける。処理作業用にダイク（導流堤）を設けること。

燃焼副産物

炭素酸化物, 窒素酸化物, リンの酸化物

消火を行う者の保護

暴露を防止するため、自給式空気呼吸器（SCBA）を備えた全身防護用防火服を着用すること。

6. 漏出時の措置**人体に対する注意事項**

個人用保護服及び器具を着用すること。

環境に対する注意事項

環境への放出を避けること。

封じ込めおよび浄化の方法および機材

全ての着火源を取り除く（その場での喫煙、炎、スパークまたは火炎は禁止）。製品を取扱う際は、全ての装置、機器等の接地を確実にすること。漏出した物質に触らないこと。人体に危険性がないかぎり、漏れを停止すること。水路、下水道、地下室または密閉区域への流入を防ぐ。蒸気を抑制する発泡体を用いて発生を抑制させることができる。土、砂、又はその他の不燃性の物質に吸収させてから容器に回収すること。クリーンアップ中に火花を発生させない工具を使用すること。関係者以外は近づけず、危険地帯を隔離し、立ち入り禁止にすること。

7. 取扱い及び保管上の注意**取扱い**

熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。一禁煙。蒸気とミストの吸入を避けること。取扱い後は手をよく洗うこと。保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。

保管

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。施錠して保管すること。現行の規制基準に従って保存し、取り扱うこと。涼しく乾燥した場所で保管すること。2～8℃で保管すること。混触危険物質を避けて保管すること。

混触禁止物質

酸化剤

8. ばく露防止及び保護措置**成分許容濃度**

この製品の成分についてはいずれも、米国産業衛生専門家会議（ACGIH）及び日本産業衛生学会（JSOH）は許容濃度を設けていない。

ACGIH—許容濃度閾値—生物学的暴露指標（BEI）

この製品の各成分には生物学的限界値が設定されていない。

安全データシート

化学品の名称: アリル=テトライソプロピルホスホジアミダイト

SDS ID: 1328 (JAPAN)

設備対策

局所排気換気システムを使用すること。適用暴露限度を遵守すること。

目の保護具

薬品の飛び散りから保護できるフェイスシールドを備えた安全ゴーグルを着用すること。緊急用洗眼器と安全シャワーを作業場に設置すること。

皮膚及び身体の保護具

適切な耐薬品性の衣服を着用すること。

手の防護具

適切な耐薬品性の手袋を着用すること。

呼吸用保護具

呼吸用保護具はばく露状況に応じて選択すること。フィルターやマスクの交換の際や緊急時は、全面型自給式呼吸器 (SCBA) の使用を薦める。

9. 物理的及び化学的性質

外観	透明な液体	物理的状态	液体
臭い	魚臭	色	無色
臭いのしきい (閾) 値	情報なし	pH値	情報なし
融点	情報なし	沸点	114 - 117 ° C at 0.44 mmHg
沸騰範囲	情報なし	凝固点	情報なし
蒸発率	情報なし	燃焼性 (固体、気体)	非該当
自然発火温度	情報なし	引火点	86.67 ° C
爆発下限値	情報なし	分解温度	情報なし
爆発上限値	情報なし	蒸気圧	0.000375 mmHg @ 25 ° C
蒸気密度 (空気 =1)	情報なし	比重 (水=1)	0.9099
溶解度 (水)	情報なし	n-オクタノール/水の分配係数	情報なし
粘度	情報なし	動粘度	情報なし
溶解度 (水以外)	情報なし	密度	0.9099 g/cm3 at 25 ° C
物理的形状	液体	分子式	C15H33N2OP
分子量	288.41		

その他の特性に関する情報

データなし

10. 安定性及び反応性

反応性

通常の使用状態下では危険有害な反応が起こるとは見込まれない。

安定性

安全データシート

化学品の名称: アリル=テトライソプロピルホスホジアミダイト

SDS ID: 1328 (JAPAN)

常温常圧で安定。

危険有害反応可能性

発生しません。

避けるべき条件

炎、火花、その他の着火源から遠ざけること。 混触危険物質との接触を避ける。

混触危険物質

酸化剤

危険有害な分解生成物

熱分解生成物

炭素酸化物, 窒素酸化物, リンの酸化物

11. 有害性情報

成分データ - LD50/LC50

この物質の成分について様々な情報源を用いて調査されたが、どのエンドポイントも特定されていない。

急性毒性推定値

データなし。

直後の影響

呼吸器系の刺激, 皮膚刺激, 眼刺激

遅発性の影響

著しい悪影響に関する情報はない。

皮膚腐食性/刺激性

皮膚刺激

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

眼刺激

呼吸器感受性

データなし

皮膚感受性

データなし

生殖細胞変異原性

データなし

発がん性

この製品のいずれの成分も、ACGIH、IARC、NTP、DFGまたはOSHAに記載されていない。

生殖影響

データなし

腫瘍発生データ

データなし

特定標的臓器毒性 (単回ばく露)

呼吸器系

特定標的臓器毒性 (反復ばく露)

特定された標的臓器はない。

吸引性呼吸器有害性

データなし

暴露により悪化する健康状態

データなし

12. 環境影響情報

成分データ-水生毒性

この製品の成分に対するLOLI環境毒性データはない。

残留性及び分解性

データなし

安全データシート

化学品の名称: アリル=テトライソプロピルホスホロジアミダイト

SDS ID: 1328 (JAPAN)

生物濃縮性

データなし

土壌中の移動性

データなし

その他の有害な影響

データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理すること。受領者に廃棄物の有害性情報を十分に伝えること。

汚染容器及び包装の廃棄方法

容器を現地の規則に従って廃棄すること。空の容器は、処理する前に残留物を全て除くこと。

14. 輸送上の注意

国際規則

IATA (国際航空運送協会) :

国連番号: 規制なし

IMDG (国際海上危険物規則) :

国連番号: 規制なし

ICAO (国際民間航空条約) :

国連番号: 規制なし

国際ばら積み化学物質コード

この物質には、IBCコードによりばら積み危険物と特定することが必要な成分は含まれていない。

国内規則

陸上輸送

消防法の規定に従うこと

海上輸送

規制なし

航空輸送

規制なし

15. 適用法令

国内規制

労働安全衛生法

規制なし

化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)

規制なし

毒物及び劇物取締法

規制なし

消防法—製品分類

第四類 引火性液体 第3石油類—非水溶性 危険等級 - III

航空法

規制なし

船舶安全法

規制なし

港則法

規制なし

各国インベントリー情報

安全データシート

化学品の名称: アリル=テトライソプロピルホスホロジアミダイト

SDS ID: 1328 (JAPAN)

アリル=テトライソプロピルホスホロジアミダイト (108554-72-9)

US	CA	AU	CN	EU	化審法	安衛法	韓国KECI付録 1	韓国KECI付録 2
なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし

韓国REACH GCA	メキシコ	NZ	PH	タイ-TECI	台湾、中国	ベトナム (ドラフト)
なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし

16. その他の情報

NFPA 等級

健康: 2 火災: 2 不安定性: 0

危険有害性尺度: 0 = 最低 1 = 小 2 = 中 3 = 大 4 = 最大 * = 慢性的危険

変更の概要

3/24/2021 - 項目1の更新。

作成日

1/7/2021

改訂日

3/24/2021

凡例

ACGIH-米国産業衛生専門家会議; ADR-陸路による危険物品の国際輸送に関する欧州協定; AU-オーストラリア; BOD-生化学的酸素要求量; C-摂氏; CA-カナダ; CA/MA/MN/NJ/PA - カリフォルニア州/マサチューセッツ州/ミネソタ州/ニュージャージー州/ペンシルバニア州*; CAS-ケミカルアブストラクトサービス; CERCLA-包括的環境対策・補償・責任法; CFR - 米国連邦規制基準; CLP-化学物質の分類・表示・包装の規則; CN-中国; CPR-管理製品規則; DFG-ドイツ研究振興協会; DOT-米国運輸省; DSD-危険物指令; DSL-国内物質リスト; EC-欧州委員会; EEC-欧州経済共同体; EIN-欧州既存商業化学物質インベントリ; EINECS-欧州既存商業化学物質リスト; ENCS-化審法インベントリ; EPA-環境保護庁; EU-欧州連合; F-華氏; F-背景 (ベネズエラの生物学的暴露指標の場合); IARC-国際がん研究機関; IATA-国際航空輸送協会; ICAO-国際民間航空機関; IDL-成分開示リスト; IDLH-生命と健康に直接に危険; IMDG-国際海上危険物規則; ISHL-安衛法インベントリ; IUCLID-国際統一化学物質情報データベース; JP-日本; Kow-オクタノール/水系分配係数; KR KECI付録 1-韓国既存化学物質インベントリ (KECI) /韓国既存化学物質リスト (KECL); KR KECI付録 2-韓国既存化学物質インベントリ (KECI) /韓国既存化学物質リスト (KECL); KR-韓国; KR REACH GCA - 韓国化学物質の登録及び評価に関する法律; LD50/LC50-半数致死濃度 /半数影響濃度; LEL-爆発下限界濃度; LLV-濃度限界値; LOLI-List Of LIsts™-ChemADVISORの規制データベース; MAK-最大許容労働環境濃度; MEL-最大暴露限界値; MX-メキシコ; Ne-非特異的; NFPA-米国消防協会; NIOSH-国立労働安全衛生研究所; NJTSR-ニュージャージー州企業秘密登録簿; Nq-非定量的; NSL-カナダ非国内物質リスト; NTP-国家毒性プログラム; NZ-ニュージーランド; OSHA-労働安全衛生庁; PEL-許容ばく露限界値; PH-フィリピン; RCRA-資源保護回収法; REACH-化学物質の登録、評価、認可及び制限に関する規則; RID-欧州鉄道輸送; SARA-スーパーファンド修正および再授權法; Sc-半定量的; STEL-短時間暴露限度; TCCA-韓国有害化学物質管理法; TDG-危険物輸送法および規則; TH-TECI -タイ- 医薬品局 (FDA) 既存化学物質インベントリ (TECI); TLV-限界値; TSCA-有害物質規制法; TW-台湾; TWA-時間加重平均; UEL-爆発上限界濃度; UN/NA-国連/北アメリカ; US-米国; VLE-メキシコばく露限界値; VN (ドラフト) -ベトナム (ドラフト); WHMIS-カナダ作業場危険有害性物質情報システム。

その他の情報

免責事項:

安全データシート

化学品の名称: アリル=テトライソプロピルホスホロジアミダイト

SDS ID: 1328 (JAPAN)

この安全データシート (M) SDS に記述されている内容は、Entegrisがこの製品の出荷時点で最新及び正確なものと思われます。Entegris は、この情報に関して、直接的または間接的にも、商業性に関する保証、特定の用途の適当性又はその他の保証を一切行いません。Entegrisは、この安全データシートに記述されている情報の使用の結果生じた損害及び負傷に対する責任を負いません。 この安全データシートに収載されている化学的、物理的データ及び毒性等の性質に対する完全な調査は行われておりません。Entegris製品を使用するにあたり、その使用が使用者の目的に適当であるか又は使用方法の確認を行うことは使用者の責任となります。適用される法律や規制に従って使用することも使用者の責任です。『Entegris』は、Entegris Inc. 又はEntegris Inc. グループの登録商標です。© Entegris Inc. 及びEntegris Inc. グループ。 無断複写・転載を禁じます。